別添1(新様式)

分別解体等の計画等

建築物の構造			□木造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨造 □コンクリートブロック造 □その他()						
		建築物の 状況	築年数年、棟数棟 その他()						
建築・関す調査の	ける	国初快温			と □住宅 □商業施設 □学校 病院 □その他() 短距離 約 <u>m</u>				
				建築物	に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容		
	に 類すのび手 変すのが手 が が が が が が が が が が が が が	作業場所	作業場		-分 □不十分)				
調査の 及 工事着 に実施		搬出経路	前面道	各 □有)□無 員約 <u>m</u> m □無)				
指風り		残存物品	□有	有 4 = 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				□ フロン排出抑制法に基づく適正処理の実施 □ 家電リサイクル法に基づく適正処理の実施	
		石綿	□ 二		□ 飛散性石綿(吹付け石綿、石綿吹付けロックウール等) □ 非飛散性石綿(石綿含有ビニール床タイル等) □ 飛散性石綿[吹付け](鉄骨等の特定建設資材以外のものに吹付けられた石綿) □ 飛散性石綿[吹付けではない](石綿を含有する断熱材、保温材、耐大被覆材等) □ 非飛散性石綿(スレートボード等)		□ 飛散性石綿の適□ 非飛散性石綿の□ 飛散性石綿に関□ 飛散性石綿の適	適正処理の実施	
		その他 付着物 有害物質等	□有□無						
工		工程		I	作業内	容	U.	分別解体等の方法	
程 ご の 作	①建築設備・内装材等				建築設備・内装材等の取り外し □有 □無			□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
業内容	②屋根ふき材				屋根ふき材の取り外し □有 □無			□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
び 解 		•上部構造部分			外装材・上部構造部分の取り壊し □有 □無			□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用	
方	基礎・基				基礎・基礎ぐいの取り壊し □有□無			□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用	
(5)	()				その他の取り壊し □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用		
工事の工程の順序					□上の工程における①→②→③→④の順序 □その他(ころの他の場合の理由(
□内装材に木材が含まれる場合				5場合	①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の □可 □不可 不可の場合の理由(材の事前の取り外し	
建築物	かに用い	られた建設賞	資材の量の見込み		トン				
廃 特別	定建設	資材廃棄!	物の種	類ごとの	種類	量	の見込み	発生が見込まれる部分(注)	
物われ		見込み及びその発生が見込ま 建築物の部分			□コンクリート塊		トン	□① □② □③ □④ □⑤	
発生見	の任業。				□アスファルト・コンクリート塊			□① □② □③ □④ □⑤	
見 込 量 					□建設発生木材		トン	□① □② □③ □④ □⑤	
(注)	(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他 備考								
NHI 🗁									